

T 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて**HBの黒鉛筆**または**HBの黒のシャープペンシル**で記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は**8ページ**までとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に**氏名**のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

西欧からは一括してノルマン人と呼ばれる、スカンディナヴィア半島・バルト海地域に住んでいた北ゲルマン系の人々は、スウェーデン人・ノルウェー人・デン人（デンマーク人）の3民族に大別される。スウェーデン人は早くからヴォルガ川によってカスピ海方面と、ドニエプル川によって黒海・東地中海方面との間に交渉をもっていた。イスラーム教徒が中央アジアに進出して東西交易が活発化すると、毛皮をはじめとする森林地帯の物産や奴隷などが大量に取り引きされるようになり、北欧にイスラーム銀貨をもたらした。

優れた造船技術と航海術をもつノルマン人は、8世紀後半から欧州各地に盛んに遠征するようになった。9世紀のなかばすぎ、先住民スラヴ人から「ルーシ」と呼ばれるスウェーデン人の一派が族長（イ）に率いられてドニエプル水系に進出し、まずノヴゴロド国を、さらに南下してくあ>公国を建設した。ノルウェー人は大西洋に飛躍し、アイスランドからグリーンランドに、さらにその一部は北米大陸に至った。デン人は北海沿いに南西方面に進み、首長（ロ）に率いられた一派は911年に西フランク王と封建関係を結んで北フランスにノルマンディー公国を建て定住した。ここからさらにわかれた一派は11世紀末に海路によって南イタリアに進出し、シチリア島をイスラーム勢力から奪って、1130年に両シチリア王国を樹立した。9世紀末にイングランドに侵入したデン人はアングロ＝サクソン人の（ハ）大王に撃退されたが、1016年、クヌート王に率いられたデン人はついにイングランドを征服した。クヌートはデンマーク・ノルウェー・スウェーデン南部にも支配を及ぼしたので、彼の統治領域は「北海帝国」とも呼ばれるが、それは彼の一代限りで終わった。その後イングランドでは一時、アングロ＝サクソン系の王が復位したが、やがてノルマンディー公（ニ）が1066年にイングランドを征服し、ノルマン朝を開いた。

移住をせず父祖の地に住み続けたノルマン人はやがてデンマーク王国・ノルウェー王国・スウェーデン王国を建てた。さらに東のフィンランドの地にはウラル語族系のフィン人が住んでいたが、13世紀末にはくい>に併合された。北欧3王国は、ビザンツ・東方世界に至る交易路をめぐってハンザ同盟と対抗しつつ発展したが、とくにデンマークの躍進はめざましかった。ノルウェー王を兼ねていたデンマーク女王マルグレーテは、1397年（ホ）同盟によってスウェーデン王をも兼ねることになり、3国の同君連合が成立した。1523年にスウェーデンが離脱するまで、この連合は続いた。

神聖ローマ帝国では、1555年の（ヘ）の宗教和議以後も、新旧両派それぞれの諸侯は同盟を結んで対抗するなど、宗教対立が激化した。1618年、オーストリア領ボヘミア（ベ

ーメン)の新教徒がハプスブルク家の旧教化政策に反旗をひるがえしたことから本格的な争乱となり、三十年戦争が始まった。これを北ドイツへの勢力拡大の好機とみなしたデンマーク王クリスチャン4世は、新教擁護を名目に1625年勇躍参戦したが、傭兵隊長(ト)の率いる皇帝軍にユトランド半島を占領され、1629年に和を結んで、ドイツへの不介入を約束させられた。これにより、かつての北欧の覇者としてのデンマークの威信は大きく失墜した。皇帝軍のバルト海進出に脅威を感じたスウェーデン王<ウ>は1630年、自ら兵を率いてドイツに侵入し、新教軍の主軸となって戦いつつ1632年に戦死を遂げた。その頃まで新教側が劣勢であった戦争は、1635年フランスの新教側に立っての参戦で攻守ところを変え、1648年の(チ)条約ではスウェーデンは北ドイツに要地⁴⁾を得て、デンマークに代わりバルト海の覇権を握る大国となった。

しかしスウェーデンのバルト海支配は半世紀あまりで幕を閉じる。1699年、ロシア皇帝ピョートル1世は、<え>・ポーランド・ザクセンと、スウェーデンに対抗する同盟⁵⁾を結び、1700年に各国は相次いでスウェーデンと開戦した。北方戦争の開始である。開戦当時18歳だったスウェーデン王カール12世は各地を転戦し勝利を収めたが、1709年ついにウクライナで大敗してオスマン帝国に亡命し、帰国後1718年に戦死した。守勢に回ったスウェーデンは、1721年の終戦時⁶⁾には、本国以外のほとんどすべての領土を喪失していた。この戦争の最中に建設が始まった(リ)に首都を移していたロシアが、以後バルト海に君臨することになる。

5. ピョートル1世は西欧への出口を求めてバルト海に進出したが、南下政策も積極的に進めた。ピョートル1世の時代にロシアが新たに占領した地域の名として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. アゾフ
- b. カザン
- c. クリミア半島南部
- d. ドナウ川沿岸

6. このときのオスマン帝国のスルタンの名として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. アブデュル=ハミト2世
- b. アフメト3世
- c. セリム1世
- d. メフメト2世

- Ⅱ. 次の文を読み、文中の下線部 1)～8)それぞれに対応する下記の設問 1～8 に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

近年の歴史学界では、大河流域で成立した四大文明から文明が始まるという見解に対し疑問が提起されている。その理由として、高原地帯でも独自の文明が成立していたことが挙げられている。しかし、大河は歴史の背景で常に流れていた。世界の10大大河にはナイル川、アマゾン川、長江、ミシシッピ川、オビ川、エニセイ川、黄河、コンゴ川、ラブラタ川、メコン川が挙げられている。これら大河の流域も、歴史の舞台となった。

- 高原地帯で成立した文明の1つで、ボリビアの高原において1世紀頃にはすでに成立していた文明の名称を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - オルメカ文明
 - チャビン文明
 - ティアワナコ文明
 - トルテカ文明
- ナイル川をせき止めているアスワン＝ハイダムは、エジプト大統領ナセルのもとで建設が進められた。ナセルに関する出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで時代順にマークせよ。
 - アスワン＝ハイダムが完成する
 - アフリカ独立諸国首脳会議が開かれる
 - 自由将校団が結成される
 - スエズ運河国有化が宣言される
 - 第2次中東戦争が始まる
- 長江に関する次の文を読み、文中の空所(イ)～(リ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

長江流域では古くから独特の文化が存在した。中流域の四川には瞳が突出した青銅製の仮面で知られる(イ)文化が生まれ、春秋時代には五霸の1人(ロ)を出した楚が栄えた。その文化は、楚の王族(ハ)の作品などを収めた『楚辞』からも読み取れる。この地域の自立性は、(ニ)の中央集権体制強化に反発した呉楚七国の乱からもうかがわれる。三国時代には呉が下流域に(ホ)と称する都を置いた。江南と呼ばれる下流域デルタの開発が進むと、(ヘ)が経済・文化の中心地として発達した。明代の江南では南宗画を大成した(ト)など、高級官僚を経験

した文人が多く現れた。また、内閣大学士と対立して罷免された（チ）が無錫で復興した東林書院が、政治批判を地域に根ざして展開した。明・清の王朝交替を体験し考証学を大成した（リ）なども、江南の出身である。

- (イ) a. 河姆渡 b. 三星堆 c. 半坡 d. 良渚
(ロ) a. 襄公 b. 莊王 c. 武王 d. 穆公
(ハ) a. 屈原 b. 勾踐 c. 張衡 d. 劉向
(ニ) a. 景帝 b. 孝文帝 c. 武帝 d. 明帝
(ホ) a. 金陵 b. 建業 c. 建康 d. 成都
(ヘ) a. 広州 b. 泉州 c. 蘇州 d. 明州
(ト) a. 仇英 b. 黄公望 c. 董其昌 d. 倪瓚
(チ) a. 黄宗羲 b. 顧憲成 c. 張居正 d. 李贄
(リ) a. 魏源 b. 顧炎武 c. 徐光啓 d. 錢大昕

4. ミシシッピ川がルイジアナを分割する境界とされた1763年の条約の名をしるせ。
5. オビ川流域を支配していたシビル＝ハン国を16世紀に攻略し、ロシア勢力のシベリア進出のきっかけをつくったコサックの首長は誰か。その名をしるせ。
6. 黄河の治水工事に徴発された人民の蜂起にはじまる紅巾の乱のなかから頭角を現した朱元璋が、明初に農業・手工業・軍事にわたって人民の労働力を徴用するために用いた制度について、「戸」という言葉を用いて2行で説明せよ。
7. コンゴ川流域にコンゴ自由国を建て、これを植民地としたベルギー国王は誰か。その名をしるせ。
8. メコン川下流域にひろがるデルタに関する次の文を読み、文中の空所〈あ〉～〈え〉それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

メコン川下流域デルタは15世紀はじめまでクメール人の〈あ〉朝の勢力下にあったが、開発は進んでいなかった。〈い〉に首都を置いたクアンナム（広南）朝が、17世紀に開発を進めると、ベトナム北部からの移民が増えた。さらに中国を支配した満州族が、その髪型〈う〉を漢族に強制するなどの政策をとると、多くの漢族が中国から移住し、開拓を進めた。メコン川下流域デルタ開発の先鞭をつけたクアンナム朝は、〈え〉党の乱によって滅びた。

【以下余白】